

専門分野 母性看護学	科目名： 母性看護学概論	講師： 専任教員	単位 30時 間（1年次 後期）
学習目標	1. 母性看護の概念が理解する。 2. 母性に関する法律が理解する。 3. 人間の性と生殖について理解する。 4. ライフサイクル各期における情勢の健康について理解する。		
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	1. 母性看護の概念	1) 母性とは (1) 母性の定義 (2) 母性の特性 (3) 母性看護の対象 2) 母性関係 (1) 愛着形成 (2) 母子相互作用 (3) 母親役割獲得 3) 家族の発達、機能 (1) 家族の定義 (2) 家族機能 (3) 家族の発達課題 4) ヘルスプロモーション (1) ヘルスプロモーションとは (2) 女性への健康教育	講義
2			
3	2. 母性看護と法	1) 地域における子育て支援 (1) 少子化対策 (2) 健やか親子21 2) 母子保健統計からみた動向 (1) 出生の動向 (2) 新生児・乳児・周産期死亡 (3) 妊産婦死亡 3) 母性を保護する法律と制度 - 母児を守る制度 - (1) 母子保健法 (2) 母体保護法 4) 周産期医療システムと母子保健施策 (1) 周産期医療システムとは (2) 医療体制とネットワーク	講義 個人 ワーク
4			
5	3. 母性保健の動向	1) わが国の母性看護の変遷 2) 母性看護の現状 (1) 母子保健施策の背景と問題、重要具体政策	講義
6	4. 人間の性と生殖	1) セクシュアリティ (1) セクシュアリティに関する概念 (2) 人間の性の性質 (3) 性的マイノリティ (4) セクシュアリティの発達と課題	講義 GW
7			
8			
9		2) リプロダクティブヘルス/ライツ (1) リプロダクティブヘルス/ライツとは (2) リプロダクティブヘルスケア - 事例をもとに考える -	
10	5. 生殖器の形態・機能	1) 生殖器の形態・機能の変化 (1) 性周期と妊娠の成立 (2) 性分化のメカニズム (3) 社会的・心理的特性から見た女性・男性	講義
11	6. ライフサイクル各 期の健康課題と援助	1) 思春期・成熟期・更年期・老年期 (1) 女性の特徴 (2) 性意識、性行動の発達と健康課題 (3) 看護の視点とヘルスプロモーション	GW
12			
13	7. 母性看護における 倫理と課題	1) 生殖補助医療と倫理的課題 2) 出生前診断と倫理的課題 3) 自己決定の尊重 4) プライバシーの保護	講義 GW
14			
15	終講試験	筆記試験、まとめ	試験
履修上の留意点		1. 配布資料はすべて持参 2. 学習形態は、その都度支持	
1) テキスト 2) 参考書		1) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学①母性看護学概論 医学書院 2) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学②母性看護学各論 医学書院 2) 国民衛星の動向 一般社団法人 厚生労働統計協会	
評価方法		1. 筆記試験 2. 課題	

専門分野 母性看護学	科目名：妊産褥婦の健康保持・ 増進に向けた看護	講師： 医師 助産師	単位 30時間 (2年次前後期)
学習目標	1. 周産期にある対象の健康の保持・増進に向けた看護について理解する。 2. 周産期における心身の特徴について理解する。		
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	1. 妊婦の看護	1) 正常な妊娠のアセスメント (1) 正常な妊娠経過 ①妊娠の成立 ②妊娠の経過と胎児の発育 ③母体の生理的变化 ④妊婦と家族の心理・社会的変化 ⑤不快症状とマイナートラブル	講義
		(2) 妊娠のアセスメント ①妊娠週数による変化 ②妊婦の健康状態と生活のアセスメント ③胎児の発育と健康状態のアセスメント	講義
2) 正常な妊婦の看護ケア (1) 妊娠中の健康管理と看護 ①妊婦の日常生活とセルフケア ②食事と栄養 ③排泄 ④活動と休息 ⑤清潔 ⑥嗜好品 ⑦性生活		講義	
(2) 妊婦と家族への看護 ①食生活の教育 ②マイナートラブルへの対処 ③出産に向けた準備への支援 ④育児に向けた準備への支援 ⑤家族役割の再調整への支援		講義	
3) 妊娠期のメンタルヘルス (1) 既往歴：精神疾患・心療内科の既往 (2) 薬物の服用経験 (3) 家族との関係の変化 (4) 出産に関する不安		講義	
4) 5)			
6	2. 産婦の看護	1) 正常な分娩のアセスメント (1) 分娩の要素 (2) 分娩の経過 (3) 産婦のアセスメント ①産婦・胎児の健康状態 ②産婦と家族の心理・社会面	講義
7 8 9 10		2) 正常な分娩の看護ケア (1) 産婦の家族の看護 (2) 分娩期の看護の実際	講義
11	3. 褥婦の看護	1) 正常な産褥のアセスメント (1) 産褥期とは (2) 褥婦の健康状態と生活のアセスメント	講義
12		2) 正常な産褥の看護ケア (1) 褥婦と家族への看護 ①身体機能回復 ②児との関係確立 ③育児 ④家族関係再構築 (2) 退院後の看護 ①育児不安と育児支援 ②社会資源 ③職場復帰	講義
13	4. 新生児の看護	1) 正常な新生児のアセスメント (1) 新生児とは (2) 新生児の機能 (3) 健康状態のアセスメント	講義

14		2) 正常な新生児の看護ケア (1) 出生直後の看護 (2) 出生後から退院までの看護 (3) 退院後から1か月検診までの看護	講義
15	終講試験	筆記試験・まとめ	試験
履修上の留意点		1. 配布資料はすべて持参 2. 学習形態は、その都度指示	
1) テキスト 2) 参考書		1) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学②母性看護学各論 医学書院 2) 看護実践のための根拠がわかる母性看護技術 メヂカルフレンド社	
評価方法		筆記試験	

専門分野 母性看護学	科目名：ハイリスクな状況にある 妊産褥婦の看護	講師： 医師 助産師 助産師	単位 15時間 (2年次前後期)
学習目標	1. ハイリスクな状況にある人の看護が理解する。		
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	1. 出生前	1) 不妊治療 (1) 不妊とその原因 (2) 検査と治療法 2) 出生前診断 (1) 出生前診断の対象と時期 (2) 出生前診断の適応と検査 (3) 胎児治療と遺伝子治療	講義
2		3) 不妊治療や出生前診断を受ける人の看護 (1) 不妊症カップルへの看護 (2) 出生前診断を受ける人への看護	
3	2. ハイリスク妊娠	1) 妊娠合併症 (1) 妊娠悪阻 (2) 妊娠貧血 (3) 妊娠糖尿病 (4) 胎位の異常 (5) 多胎妊娠 2) 流早産 *若年・高齢者妊娠 *妊娠期の感染症 3) 胎盤の異常 (1) 常位胎盤早期剥離 (2) 前置胎盤 (3) 妊娠高血圧症候群	講義
4		4) 妊婦と家族への看護ケア (1) 若年・高齢妊娠 (2) 切迫流早産 (3) 多胎妊娠 (4) 妊娠高血圧症候群 (5) 妊娠糖尿病	講義
5 6	3. ハイリスク 分娩・産褥	1) ハイリスク分娩 (1) 産道の異常 (2) 娩出力の異常 (3) 胎児の異常による分娩障害 (4) 胎児の付属物の異常 (5) 胎児機能不全 (6) 分娩時損傷 (7) 分娩3期及び分娩直後の異常 (8) 分娩時異常出血 2) 産科処置と産科手術 (1) 分娩誘発 (2) 会陰切開 (3) 吸引・鉗子分娩 (4) 骨盤位に対する処置 (5) 帝王切開術 3) ハイリスク産褥 (1) 子宮復古不全 (2) 産褥期の発熱 (3) 産褥血栓症 (4) 精神障害	講義
7		4) 産婦と家族への看護ケア (1) 前期破水 (2) 微弱神通 (3) 分娩誘発 (4) 前置胎盤 (5) 常位胎盤早期剥離 (6) 分娩時異常出血 (7) 帝王切開術 (8) 子宮復古不全 (9) 産褥期の発熱 (10) 産後うつ (11) 児を亡くした褥婦と家族 (12) 障害を持つ新生児を出産した褥婦と家族	講義 GW
8	終講試験	筆記試験	試験
履修上の留意点		1. 配布資料はすべて持参 2. 学習形態は、その都度指示	
1. テキスト 2. 参考書		1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学②母性看護学各論 医学書院 2. 看護実践のための根拠がわかる母性看護技術 メヂカルフレンド社	
評価方法		筆記試験	

専門分野 母性看護学	科目名：母性看護学演習	講師名：専任教員	単位 30 時間 (2 年次後期)
学習目標	1. 母性看護の対象となる人々の健康の保持・増進に向けた支援について理解する。 2. 母性看護に必要な援助技術の習得ができる。		
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	1. 母性看護の対象への指導計画の立案と評価	1) 母性看護におけるウェルネスの視点 (1) ヘルスプロモーションのための看護 ①保健行動への動機づけ ②健康教育・保健相談	講義
2	2. マタニティサイクルの対象への看護過程の展開	1) 産褥期：事例提示 (1) 産褥期にある対象を理解 ①週数に応じた妊娠期のアセスメントの視点：身体・心理的变化 ②健康診査のための看護：レオポルド触診法、児心音聴取、子宮底・腹囲測定 ③妊婦の健康教育の実際：妊婦体操	講義 個人ワーク
3		④経過に応じた分娩期のアセスメントの視点：身体・心理的变化 ⑤安全・安楽な分娩への看護：産痛緩和とマッサージ法、呼吸法 ⑥褥婦のアセスメントの視点：産褥日数に応じた身体・心理的变化	演習
4			講義 演習
5			
6			
7			
8		⑦産褥期の看護計画 *保健指導計画も含む	演習 GW
9		⑧産褥日数による子宮底の変化と観察方法 子宮復古を促す技術 *産褥体操 ⑨乳房の観察、含ませ方、抱き方への援助 乳汁分泌を促す技術 ⑩育児技術の習得 *愛着形成 児の栄養：搾乳、人工栄養 児の清潔：更衣・沐浴 児の排泄：排泄物の観察とおむつ交換	
10		⑪新生児のアセスメントと看護計画 出生直後のアセスメント： 呼吸・アプガールスコア・発育評価・外観（形態異常の評価）・黄疸の評価・新生児の検査 日数に応じた健康状態のアセスメント： 姿勢・皮膚・頭部・呼吸循環・体幹四肢・外性器 排尿排便・神経学的状態・体重・哺乳力などの成長・発達	
11		⑫新生児の身体計測 バイタルサインの測定、新生児の計測	演習 GW
12	⑬事例に必要な保健指導 指導計画書の作成と指導方法	講義 個人ワーク	
13			
14	2) 帝王切開術による褥婦の看護 切開術後の身体・心理的变化の回復過程 3) まとめ	GW	
15			
履修上の留意点		1. 配布資料はすべて持参 2. 学習形態は、その都度指示	
1) テキスト 2) 参考書		1) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学①母性看護学概論 医学書院 1) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学②母性看護学各論 医学書院 1) 看護実践のための根拠がわかる母性看護技術 メヂカルフレンド社	
評価方法		1. 看護過程の展開 2. 演習課題	